

**PRIMERGY コンバージドスイッチブレード(10Gbps 18/6+6)  
[VDX 2730]  
ご使用上の留意・注意事項**

PRIMERGY コンバージドスイッチブレード(10Gbps 18/6+6) [VDX 2730]に関して、以下の留意・注意事項がございます。本製品をお使いになる前に、本書をよくお読みになり、理解されたうえで本製品をお使いください。

2014 年 11 月  
富士通株式会社

## 1 最新ファームウェアでの留意・注意事項

### 1.1 Reserved vlan 設定の不具合について

Reserved vlan の設定変更について、reboot 後に設定変更が反映されなくなるため、Reserved vlan 設定変更を行う必要が無いようにネットワークを設計する、もしくは、全ての reboot 後に再度 reserved vlan の設定変更を行う必要があります。

### 1.2 搭載条件について

サポート組み合わせについては搭載するシャーシ又はサーバブレードの記載を参照してください。  
※MMB のファームウェアは以下を使用する必要があります。  
BX900 S2 用で 5.05 版以降、BX400 S1 用は 6.42 版以降

### 1.3 VCS ライセンスについて

VCS ライセンスがインストールされていない場合、自機を含め 2 台までの VCS 接続が可能です。ただし、ライセンスがインストールされている別の VDX シリーズスイッチと VCS 接続する場合、ライセンスなしの装置はたとえ 2 台以下であったとしても接続できません。ライセンスがインストールされている VDX シリーズスイッチと VCS 接続する場合は、必ず VCS ライセンスをインストールしてください。

### 1.4 Storage 関連機能について

Storage 関連機能(FCoE、またはファイバーチャネル機能)については、VCS 以外のモード(Standalone モード)では使用することができません。

### 1.5 ファイバーチャネルポートについて

ファイバーチャネルポートは EX\_Port 接続のみサポートとなっております。ストレージやサーバとの直接接続や FC Router 機能の持っていないファイバーチャネルスイッチとの接続はできません。

## 1.6 Management Blade(MMB)による設定について

本製品に対して MMB から IP アドレスの設定を行うことはできません。本製品の CLI(MMB 経由のシリアルアクセス(ConsoleRedirection)や Telnet/SSH)から設定を行ってください。

## 1.7 ファームウェア(Network OS)のリリースについて

本製品は NOS 4.x 以降にアップデートすることはできません。今後も NOS 4.x 以降にアップデート対応する予定はないため、本製品を含む VCS は NOS 3.x 以前の構成で構築する必要があります。

## 1.8 LACP について

LACP の Defaulted mode がサポートされていないため、LACP の LAG として設定されたネットワークカードでの PXE ブートは機能しません。

## 1.9 show コマンドによるメモリ消費について

show コマンドを定期的に続けて実施し続ける(数週~数か月)とスイッチ reboot が実施されるまでメモリ消費が続いてしまう場合があります。本現象を回避するため、show コマンドを数分の間隔もあけずに定期的の実施し続けることは避けてください。

## 1.10 linkstate 機能について

本装置はファームウェア v3.xx から Linkstate 機能をサポートします。

本機能はダウンリンクの Interface-config モードで

```
[no] track enable
```

コマンドと

```
[no] track interface ethernet <rbridge_id>/slot/port
```

または

```
[no] track interface port-channel <port_channel_number>
```

を実行することで設定できます。状態は show interface コマンドでダウンリンク側の"Tracking status:"と"Tracked interfaces:"で確認することができます。

[設定例]

```
switch# configure
```

```
Entering configuration mode terminal
```

```
switch(config)# interface TenGigabitEthernet 0/1
```

```
switch(conf-if-te-0/1)# track enable
```

```
switch(conf-if-te-0/1)# track interface ethernet 0/19
```

```
switch(conf-if-te-0/1)# track interface ethernet 0/20
```

上記例ではダウンリンク 0/1 で tracking が有効になり、0/19 と 0/20 がダウンしたら 0/1 がダウンします。

## 1.11 本製品のユーザインターフェースについて

本製品に Web ユーザインターフェースは搭載されておりません。

## 2 過去の留意・注意事項

### 2.1 UAN(User Assigned Name)の設定について

初回出荷版数ファームウェア(v2.1.1\_fuj)では MMB から設定した UAN は、設定後” copy running-config startup-config” を実行せずに、本製品を再起動すると、設定が消えてしまいます。

### 2.2 VCS の vCenter integration 設定について

初回出荷版数ファームウェア(v2.1.1\_fuj)では VCS で vCenter 統合を行う際にハングが発生すると、VCS 全体に不具合が発生してしまいます。VCS クラスタのメンバになった後に IP アドレスを変更しなければ、この現象は回避できます。

以上